



(平成23年10月1日発行) 第34号
発行：福島県鮫川水系ダム管理事務所
福島県いわき市東田町1丁目26-1
☎0246-63-2155 ☎0246-63-1666
✉ samegawa.damu@pref.fukushima.jp
ダム情報テレホンサービス 0246-77-3077



管理所屋上から望む高柴ダム湖

台風(15号)通過 高柴ダム1週間自家発電での監視

県内全域に甚大な被害をもたらした台風15号の通過により、高柴ダム、四時ダムいずれの流域も強風を伴う豪雨となり、流入量が急激に増加することとなりました。それによって、家庭ごみを含む流木等が大量に流れ着きました。

これまでも、降雨により流入量が増加すると、家庭ごみや一般ごみを含んだ流木等が流れ着いていますが、台風による流木等の漂着は通常時に流れ着く量とはけた違いに大量で、管理所から見渡せるダム湖面を覆い尽くしています。

3月11日と4月11日及び12日に発生した地震により、高柴ダムへ通じる市道は数カ所の崩落箇所と道路の一部が陥没していましたが、今回の台風によってさらに落石や陥没箇所が増えています。また、電力線への倒木によって、商用電源の受電が行えなくなり、1週間ほど自家用発電機による電力でダム監視となりました。



四時ダムへも流木等の流入

四時ダムの集水面積は、県南地方の埴町が約3分の1、茨城県の北茨城市が約3分の1で残りがいわき市です。

流域には民家が少ないことから家庭ごみの流入はほとんどありませんし、流木等についてもこれまで大量に流れ着くことはありませんでした。しかし、今回の台風による降雨によってここ10年間では一度も漂着しなかった量のごみを含んだ流木等が漂着しています。

漂着したゴミ等は管理に支障を来すばかりか、大きな樹木はゲート等にぶつかればゲートの損傷や機能不全を引き起こす可能性もあります。そのため委託により流木等の撤去を行う事になります。撤去のために陸

揚げされた流木は、全て産廃処理となりますが、乾燥させることによって流木アートや燃料等、利用価値が生じる物もあります。

流木が必要な方にお持ちいただければ、産廃処理の経費節減にもなります。あなたのアイデアで流木を有効活用してみませんか。



四時ダムに漂着したごみを含んだ流木

青空市場開催される

平成23年10月8日(土)・9日(日)
四時ダム構内において地元産品販売の青空市場が開催されました。

次回は、
11月開催
予定



がんばっぺ in しとき!

これまで、森と湖に親しむ旬間にあわせ四時ダム構内に於いて「ダムまつり」を実施してきましたが、東日本大震災及びそれに伴う福島第一原発の放射能漏れ事故により、今年の実行委員会形式のまつりは見合わせとなりました。

それに変わる催しとして、ふる里「しとき」を考える会主催により、「がんばっぺ in しとき」と銘打ったミニイベントを旬間最終日曜日の7月31日に実施しました。

小雨交じりの中での開会となりましたが、10時を過ぎる頃には雨も上がり、予想を上回る多くの市民の方が訪れ夏の一日を楽しんでいました

主ゲート室には各種作品展示
(流木を利用したオブジェ)



地元中学生によって復活した
「四時太鼓」で開幕

「しとき会」会長、自らの演奏で
カラオケ大会



メイン会場前

